

『鉄系超伝導体のポテンシャルと今後の展望』

2008年の発見以降、鉄系超伝導体は第二の高温超伝導体として理論・応用両面から活発な研究が行われてきました。特に高臨界磁場と低い異方性を利用した薄膜・線材応用に向けた研究が様々な研究機関により行われています。第52回研究会では、最近のプロジェクト研究を中心に鉄系超伝導体の物質探索、薄膜、応用などの研究を行っている先生方に最近の研究状況をご講演いただきます。鉄系超伝導体研究に関わる皆様はもとより、超伝導研究に携わる若手研究者・学生など多くの皆様の参加をお待ちしています。

- 主催：応用物理学会 超伝導分科会
- 日時：2015年12月9日(水) 13:00～17:55
- 場所：東京大学武田先端知ビル5F 武田ホール
〒113-0032 東京都文京区弥生2-11-16
アクセス・地図：http://www.u-tokyo.ac.jp/campusmap/cam01_04_16_j.html

プログラム	
13:00-13:05	開会挨拶 分科会幹事長
13:05-13:35	鉄系超伝導体の材料ポテンシャル 下山淳一 (青山学院大学)
13:35-14:05	122型鉄系超伝導体単結晶の臨界電流特性 石田茂之 (産総研)
14:05-14:35	電気化学を用いた鉄系超伝導体の薄膜化、線材化、高性能化 高野義彦 (物材機構)
14:35-15:05	鉄系超伝導体の局所電磁特性評価 木須隆暢 (九州大学)
15:05-15:20 休憩	
15:20-15:50	1111および122超伝導薄膜の成長と接合作製 生田博志 (名古屋大学)
15:50-16:20	鉄カルコゲナイドエピタキシャル薄膜を用いた研究の現状 前田京剛 (東京大学)
16:20-16:50	透過電子顕微鏡による鉄系超伝導膜の微細組織観察 一瀬中 (電中研)
16:50-17:20	鉄系超伝導のトンネル効果とジョセフソン効果 矢田圭司 (名古屋大学)
17:20-17:50	PIT法によるBa-122線材の作製と特性 戸叶一正 (物材機構)
17:50-17:55	閉会挨拶 分科会幹事

研究会担当幹事：荻野 拓 (東大)・井上 昌陸 (九大)・高野 義彦 (物材機構)・田井野 徹 (埼玉大)・
銭谷 勇磁 (パナソニック)

参加費 (当日受付、消費税込)：超伝導分科会員 2,000 円、応用物理学会員 3,000 円、非会員 4,000 円、
学生 1,000円

申し込み方法：(1)所属、(2)氏名、(3)連絡先(TEL, E-mail)、(4)会員種別を明記の上、12月1日(月)までに下記申込先に電子メールでお申し込み下さい。席に余裕がある場合は当日参加も受け付けますが、資料等の準備がありますのでなるべく期日までにお申し込み下さい。

申し込み先：田井野 徹 (埼玉大) TEL: 048-858-3899、e-mail: taino@super.ees.saitama-u.ac.jp